

第三セクターの経営情報について (株式会社サンアンドホープ)

1 会社概要

(1) 設立趣旨

働く意志と能力がありながら就労の機会に恵まれない知的障害のある方に、働きやすい職場を提供するため設立された、第三セクター方式による重度障害者多数雇用企業

(2) 所在地

北九州市門司区大字猿喰 1 1 5 7 - 2

(3) 設立年月日

平成9年6月5日 (平成13年11月操業開始)

(4) 出資者及び資本金

総額	2億7,000万円
北九州市	1,200万円 (4.4%)
福岡県	1,200万円 (4.4%)
(株)ニチリウ永瀬	2億2,100万円 (81.9%)
(株)西日本シティ銀行	1,000万円 (3.7%)
タキイ種苗(株)	700万円 (2.6%)
(株)福岡銀行	500万円 (1.9%)
損害保険ジャパン日本興亜(株)	300万円 (1.1%)

(5) 主な事業内容

- ①家庭用園芸用肥料用土の製造販売
- ②園芸用資材の製造加工販売

(6) 従業員数 (平成30年12月31日現在)

53名

うち障害者 24名

- ・知的障害者 23名 (重度11名、中軽度12名)
- ・身体障害者 1名 (中軽度1名)

(7)障害のある従業員の主な業務

- ① 原材料の配合機への投入作業
- ② 製品の自動包装・梱包作業
- ③ 製品の検品・出荷作業

2 事業報告

園芸市場の縮小による価格競争や親会社ニチリウ永瀬の販売不振などにより、売上・収益とも厳しい状況となっており、減収減益となった。

3 決算(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

売上高は、前年比268万円減の16億3,694万円となり、営業利益は前年比1,086万円減の137万円、経常利益は前年比1,173万円減の154万円、当期純利益は前年比1,719万円減の46万円となった。

(単位：万円)

	29年	30年	
売上高 (対前年増減額)	163,962 (▲2,301)	163,694 (▲268)	
営業利益 (対前年増減額)	1,223 (223)	137 (▲1,086)	(売上高－営業費用)
経常利益 (対前年増減額)	1,327 (▲1,275)	154 (▲1,173)	(営業利益＋営業外収益 －営業外費用)
当期純利益 (対前年増減額)	1,765 (▲239)	46 (▲1,719)	(経常利益－法人税等)

※万円未満は四捨五入

平成30年
事業報告書

株式会社サンアンドホープ

平成31年3月14日

株 主 各 位

北九州市門司区大字猿喰1157番地の2
株式会社 サンアンドホープ
代表取締役 武 谷 俊 一

第23回定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第23回定時株主総会を下記のとおり開催致しますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合には、お手数ながら後記の参考事項をご検討くださいますて、同封致しました委任状用紙に賛否をご表示いただき、ご捺印の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 開催日時 平成31年3月27日（水曜日）午後1時30分
2. 開催場所 北九州市門司区大字猿喰1157番地の2
当社 本社会議室
3. 会議の目的事項
報告事項 第23期（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）
事業報告の件

決議事項
第1号議案 第23期（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）
計算書類承認の件
第2号議案 取締役6名選任の件
第3号議案 代表取締役社長選定の件
第4号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件

以 上

（お願い）

当日ご出席の際には、お手数ながら同封の委任状用紙を会場受付へご提出くださいますようお願い申し上げます。

(添付書類)

事業報告

(平成30年1月1日から平成30年12月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

当事業年度におけるわが国経済は、各種の経済・金融政策を背景に雇用情勢の改善や設備投資の増加が見られ、緩やかな景気回復基調が続いております。

肥料業界におきましては、政府より発表された「農業競争力強化プログラム」に基づき、肥料を含む、生産資材価格の引き下げや、業界再編を促すための措置が講じられております。

一方で農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の拡大等、日本農業の構造的問題や農産物の生産コスト低減の動きが一層強まる等、依然として需要の減少に歯止めがかからない状況が続いております。

このような状況の中、当社は園芸市場の縮小に伴う価格競争や親会社の販売不振などにより売上・収益ともに厳しい状況となっております。又、製造部門の非効率性の問題点も残されており、当事業年度における営業成績は売上高 1,636,943 千円、経常利益 1,538 千円、当期純利益 458 千円という結果になりました。

(2) 設備投資の状況

重要な設備投資はありません。

(3) 資金調達の状況

該当する事項はありません。

(4) 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当する事項はありません。

(5) 他の会社の事業の譲受の状況

該当する事項はありません。

(6) 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当する事項はありません。

(7) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得の状況

該当する事項はありません。

(8) 対処すべき課題

市場においては、人口減少による需要縮小や製品の価格競争により、各企業の収益確保が、一段と厳しい状況となっております。

そのような中、当社においては、企業理念である障がい者雇用の拡大を図ると共に、商品アイテムの削減、在庫数量の適正化、製品コストの低減等に努めながら、安全で環境に配慮した製品の安定供給を行う事が最も重要な課題となっております。